

社団法人日本クラシック音楽事業協会

平成 24 年度事業報告書

(平成 24 年 4 月 1 日より平成 25 年 3 月 31 日まで)

1] クラシック音楽事業及びクラシック音楽文化活動に関する人材育成 (定款第 4 条第 1 項関係)

- 経営者がタイムリーなテーマを協議し、会員のスキルアップ、同業種の共通問題の解決、経営者間の情報交換と親睦等を深めるべく、参加者を限定して実のある議論を展開する「10 人会」は、以下のテーマで計 1 回開催されると共に、マネジメント部会も開催された。

※第 1 回 テーマ「消費税値上げ、復興増税に伴う税務研修会」

日 時 平成 24 年 12 月 11 日 (火) 13 時 00 分～14 時 00 分

会 場 協会事務局会議室 参加者は協会税務委託顧問の他ホール・マネジメント関係者の 6 名

※ マネジメント部会

テーマ 放送メディアとの連携について、研究と討議

期 日 平成 24 年 4 月 27 日 (金) 10:30～12:00

会 場 協会事務局会議室 参加者はマネジメント・放送関係者の 10 名

- 昭和音楽大学の「新たな産学連携」事業として、ACPC (コンサートプロモーターズ協会) と連携して「音楽産業概論Ⅱ」の講座に本会の事業関係者を派遣し、クラシック音楽を取り巻く環境の変化や、コンサートスタイルの変貌等について講座が展開された。
- 教育創造部会を中心に進めていた「コンサートマネジメントのテキスト制作」については、昭和音楽大学、ヤマハミュージックメディア及び当協会の共同事業として、会員各社の最先端で働く実務家の執筆協力を得、クラシックコンサートマネジメント界の最新のテキストとして発刊された。
「クラシック・コンサート制作の基礎知識」
発行 2013 年 1 月 1 日 初版 2,000 部 定価 2,000 円消費税別
発行所 株式会社ヤマハ・ミュージック・メディア
企画制作 社団法人日本クラシック音楽事業協会
編 集 昭和音楽大学
- 全国公立文化施設協議会よりの要請で、全国劇場・音楽堂等アートマネジメント研修会 2013 に、善積常務理事と入山功一理事が講師として参加し、[「ホール事業の企画立案のプロセスと成功へのポイント」～実践的コンサートホールのマネジメントについて～] と題したセミナーを全国約 180 名の公立ホール実務担当者に向けて実施した。
期 日 2013 年 2 月 13 日 (水) 16:40～18:40
会 場 国立オリンピック記念青少年総合センター
- シンポジウムについては、企画案を立案まで至ったが人選等に検討事項が残り開催には至らなかった。

2] クラシック音楽事業及びクラシック音楽文化活動に関する調査及び研究 (定款第 4 条第 2 項関係)

- アート・マネジメントの検定制度については、予てより懸案事項であり、テキスト発刊との連携も重要なことから、今年度についてはテキスト発刊を最優先として、次年度に向けて検定制度の在り方等を関係団体も含めて継続的に調査・研究することとしている。
- 二次使用、映像化等多様化する事業環境に対応する為の新契約書式の研究開発に向けたフォーマットの作成については、法律改正が 12 月に行われた為進展出来ず今後の課題となった。

3] クラシック音楽事業及びクラシック音楽文化活動に関する普及及び啓発 (定款第 4 条第 3 項関係)

- クラシック音楽の普及と協会の認識を高める為の事業「JAPAN CLASSIC FESTIVAL 2013」を開催した。一昨年は東日本大震災の影響もあり、開催を見送ったが、今年度は開催時期を 2013 年 1 月～3 月と三ヶ月間に拡大して全国で開催した。現状のコンサート市場を支えている主要な世代はシニア世代であることを踏まえ、次世代を担う子どもや若い世代へ向けて、クラシック音楽が持つライブ感、新しい魅力を発見できるような機会の充実を目指し、会員各社の主催・開催する公演を音楽祭参加公演として登録し、学生向けのユース席の提供を求め、若い世代に向けて優れた公演の提供をはかった。又、エデュティメント企画として、公開リハーサルやバックステージツアー等も公演主催者と共に実施して次世代の観客育成に向けた取り組みを行った。

名称 JAPAN CLASSIC FESTIVAL 2013 (邦題 日本クラシック音楽祭 2013)
会期 2013年1月5日～4月9日
テーマ 「未来輝く君だから知って欲しい!!」
開催地 全国(北海道帯広市～福岡県福岡市)
共催 (公社)日本オーケストラ連盟/ (社)全国公立文化施設協会
後援 経済産業省、文化庁
特別協力 読売子ども新聞
協賛 オリックス株式会社、花王株式会社、株式会社日清製粉グループ本社、ヤマハ株式会社
財団法人ヤマハ音楽振興会
参加公演数: 109公演 / 招待席提供枚数: 1217枚 / 応募総数: 7472件

- 財団法人地域創造の公共ホール音楽活性化事業に協力して、地域の公共ホールに於けるクラシック音楽普及の一環として、新進アーティストに活躍の場を提供し、地域音楽文化の活性化を促進した。又、平成26・27年度の登録アーティストの選考に向けた広報プロモーションを受託して実施した。

※平成24年度公共ホール音楽活性化事業(全国14ホールで実施)(市町村連携モデル事業含む)
岩手県奥州市、岩手県大船渡市、岩手県久慈市、埼玉県川越市、群馬県太田市、東京都東久留米市、神奈川県小田原市、岐阜県山県市、岐阜県揖斐川市、愛知県豊川市、石川県津幡町、滋賀県高島市、兵庫県加東市、沖縄県浦添市

※平成26・27年度登録アーティスト選考に向けたプロモーション
月刊「音楽の友」、月刊「ぶらあぼ」、月刊「ショパン」等の雑誌に公共ホール音楽活性化事業の審査会の広告を掲出し、新進アーティストに向けた審査会の告知を行った。

- 公共ホール音楽活性化事業の継続サポート事業「公共ホール音楽活性化支援事業」についても、協会として制作協力体制を整え、プレゼンテーションを開催するとともに、平成24年度は全国22ホールで実施した。

※登録アーティストによるプレゼンテーション
全74人(組)の登録アーティストのうち、48人(組)によるプレゼンテーションが実施ホール担当者に対して実施された。
平成24年8月1日(水)・2日(木) / 会場: 横浜赤れんが倉庫1号館 2FスペースC・3Fホール

- (財)地域創造の実施する公共ホール音楽活性化アウトリーチフォーラム事業(都道府県等との共催により、親しみのあるクラシック演奏会と、アウトリーチ手法に関する研修会を開催する事業)の鹿児島県公演についてアーティスト派遣に関するマネジメント業務を実施した。

※鹿児島セッション(鹿児島市、中種子町、長島町、徳之島町、鹿屋市)
○期日 平成24年12月8日 中種子町公演(種子島こりーな)
平成24年12月15日 長島町公演(長島町開発総合センター)
平成25年1月19日 徳之島町公演(徳之島町文化会館)
平成25年2月9日 鹿屋市公演(鹿屋市文化会館)
○アウトリーチ研修会の開催 平成24年9月20日(木)～9月25日(火) 鹿児島県文化センター宝山ホール
○フォーラム・ガラコンサートの開催 平成25年3月2日(土) 鹿児島県文化センター宝山ホール
○派遣アーティスト 審査会による選出演奏家2組(弦楽四重奏、木管五重奏)

- 丸の内元気文化プロジェクトの一環として、丸ビル、丸の内OAZO、丸の内永楽ビルにて、ミニライブを年間5回開催した。この事業は、大手町・丸の内・有楽町地区再開発推進協議会と文部科学省が推進する事業で、街の文化力を高め、その力で社会を元気にする活動として推進されている。尚、全5回の合計来場者数は約1000人。

※丸の内元気プロジェクト共催事業 日本クラシック音楽事業協会 PRESENTS クラシックサロン
第1回 12月14日(金)18時30分～ 聖☆少女合唱団 ～サンタが街にやってくる～
出演 聖☆少女合唱団(少女合唱) [(株)アルデンテ・ミュージック・トーキョー]
第2回 12月21日(金)18時30分～ クリスマスコンサート～南米からの贈り物～
出演 レオナルド・ブラーボ(ギター) [コンサートイマジン]
第3回 1月9日(水)18時30分～ 新春コンサート 手作り竹楽器の音楽隊「竹鼓舌」ライブ
出演 竹鼓舌(手作り竹楽器の音楽隊) [(株)シド音楽企画]
第4回 2月13日(水)18時30分～ バレンタインコンサート～TONES マリンバコンサート～
出演 マリンバ・パーカッショングループ TONES [(株)カメラータトウキョウ]
第5回 3月14日(木)18時30分～ ホワイトデーコンサート～Kiyomi サックスアンサンブル
出演 Kiyomi サックスアンサンブル(サックスアンサンブル) [(株)東音企画]

- 宝くじドリーム館 プレミアムクラシックコンサートの制作
クラシック音楽を通じて宝くじの理解促進及び普及宣伝に向けたランチタイムコンサートを、東京・京橋にある宝

くじドリーム館で年間 11 回、大阪・難波にある宝くじドリーム館で年間 11 回開催し、近隣の地域住民や来館される宝くじファンとのコンサートを通じたクラシック音楽普及活動を行なった。尚、東京の全 11 回の合計来場者数は約 4000 人。又、大阪の全 11 回の合計来場者数は約 3000 人。

※東京宝くじドリーム館ランチタイムコンサートの開催

Vol,1	4月18日(水)	正午ー	サクソフォーン四重奏の響宴 出演:クワチュール・ベー (Sax 四重奏)
Vol,2	5月23日(水)	正午ー	やさしさをあなたへ 出演:沢崎恵美 (ソプラノ)
Vol,3	6月20日(水)	正午ー	はずむ雨音 おどるしずく 出演:新崎誠実 (ピアノ)
Vol,4	7月18日(水)	正午ー	木管五重奏の響き 出演:クインテット・アッシュ (木管五重奏)
Vol,5	9月19日(水)	正午ー	トランペット・パラダイス 出演:神代修 (トランペット)
Vol,6	10月17日(水)	正午ー	日本の歌・世界の歌 出演:羽山晃生 (テノール)
Vol,7	11月21日(水)	正午ー	深まる秋のコンサート 出演:小谷口直子 (クラリネット)
Vol,8	12月5日(水)	正午ー	ホッとひと息、ホットなひと時 出演:ピアノトリオ・ミュゼ (Pf トリオ)
Vol,9	1月16日(水)	正午ー	新春にピアノの響きはいかが? 出演:久保田葉子 (ピアノ)
Vol,10	2月20日(水)	正午ー	菜の花に寄せて 珠玉の名曲とともに 出演:瀧村依里 (ヴァイオリン)
Vol,11	3月6日(水)	正午ー	ランチタイムスペシャルガラコンサート 出演:クワチュール・ベー、クインテット・アッシュ、ピアノトリオ・ミュゼ、沢崎恵美、羽山晃生 他

※大阪宝くじドリーム館ランチタイムコンサートの開催

Vol,1	4月19日(木)	16:00ー	春爛漫、世界を歌で旅します! 出演:小林厚子 (ソプラノ)
Vol,2	5月24日(木)	12:00ー	あらためて聴くフルートの魅力 出演:荒川洋 (フルート)
Vol,3	6月21日(木)	16:00ー	セロ弾きの一郎 出演:長谷部一郎 (チェロ)
Vol,4	7月19日(木)	12:00ー	コトコトと昼下がりのコト涼み 出演: Dual KOTO×KOTO (箏デュオ)
Vol,5	9月20日(木)	16:00ー	テノールの名曲集でスカッとしましょう! 出演:中鉢聡 (テノール)
Vol,6	10月18日(木)	12:00ー	ハッピードリームコンサート! 出演:中川賢一 (ピアノ)
Vol,7	11月22日(木)	16:00ー	聴かなきゃソンソン! 出演:益田正洋 (ギター)
Vol,8	12月6日(木)	12:00ー	何が聴けるか? あなたのくじ運次第! 出演:カルテット・スピリタス (Sax 四重奏)
Vol,9	1月17日(木)	16:00ー	新春招福コンサート! 出演:早稲田桜子 (ヴァイオリン)
Vol,10	2月21日(木)	12:00ー	名曲で綴る作曲家の恋 出演:川井綾子 (ピアノ)
Vol,11	3月7日(水)	16:00ー	スペシャルガラコンサート 出演:中川賢一、長谷部一郎 他

- 日清製粉グループ本社の主催による CSR 事業「Kona フェスタ」については一昨年まで継続的に実施して来たが、今年からは今年同社の創立時記念館事業と重なったことから今年度は開催を見送る決定がなされ開催しなかった。
- クラシック音楽の聴衆の増加を目指し、協会のスケールメリットを活かした会員の協同広告事業については、従来の朝日新聞音楽情報欄として減少傾向にはあるものの毎月定期的に掲載している。又、三年前より実施している朝日新聞の朝刊ミュージックプラザ欄の協同広告については、掲出社の減少予算の減少等により今期は掲出出来なかった。

4] クラシック音楽事業及びクラシック音楽文化活動に関する知的財産権の維持・管理及び保全

(定款第4条第4項関係)

- 音楽著作権使用料の再改訂については、平成23年4月1日より1%の使用料上乗せが J A S R A C より通告されたことに対し、昨年に引き続き、現況で1%の値上げは受け入れがたい状況にあることをアピールし、時期の延長を申し入れたが決定を変更するに至らず、付帯条項を検討・整理した。
- コンサート約款の制定・普及につき、協議を継続しているがそれぞれの団体の規定を統一することに時間がかかっており制定が持ち越しとなり、今後はコンピューターチェック協議会と協議を行うこととなった。

5] クラシック音楽事業及びクラシック音楽文化活動に関する情報収集及び提供事業 (定款第4条第5項関係)

- クラシック音楽情報公式サイト「JAPAN CLASSIC NAVI」の運営については、一昨年より事務局内部での運営を行っているが、サイトに情報を継続的に掲出する会員の低迷と、利用者のアクセス数の伸び悩みについては昨年以上に厳しい状況である。現在はサイト内の協会のオフィシャルページを中心に、協会からの情報発信を行なう他、東日本大震災の被災者支援の一環として設置された「心の復興音楽基金」の支援情報等についても継続的に発信している。
- クラシック音楽事業ガイドについては、関係各所から復刊の要望が多く寄せられた事等から、ガイド編集委員会を立ち上げ検討の結果隔年にて発行することを決定し、復刊に向けた編集作業を行った。体裁は A5 版に変更し、販売価格も廉価に設定し編集内容等についてはよりコンパクトにした非常に使いやすガイドブックにリニューアルした。「クラシック音楽事業ガイドブック 2013」

発行予定 2013年4月中旬 2013版2,000部 定価1,000円消費税別

発行所 社団法人日本クラシック音楽事業協会

編集 ガイドブック編集委員会

又、従来より発行を検討していた広報誌の発刊については、予算の問題等につき今期は発刊に至らなかった。

6] クラシック音楽事業及びクラシック音楽文化活動に関する内外関係機関等との交流及び協力事業

(定款第4条第6項関係)

- 協会の直接事業ではないが、アジアとの連携が大切なことから、FACPについては関田会長、福田副会長、茂田理事、下八川理事、中坪会員が協議し、定期カンファレンスの日本での開催に向けて検討中である。
- 日本音楽芸術マネジメント学会の主導で劇場・音楽堂の活性化に関する法律の制定に関して文部科学大臣指針に対し関係団体の意見を取りまとめる協議に参加した。

7] その他本会の目的を達成するための事業 (定款第4条第7項関係)

- 平成24年度の会員数は、正会員46会員(平成23年度末)より、46会員(平成24年度末)に(この間退会1会員、新入会1会員)、賛助会員56会員(平成23年度末)より55会員(平成24年度末)に(この間退会2会員、新入会1会員)。平成20年度から正会員の減少が続いており、賛助会員の退会も見受けられる事から、一般社団法人への移行後はすみやかに会員資格及び会費制度の制度設計を行うべく検討を行っている。
- 予てより文化芸術推進フォーラムの一員として音楽議員連盟と共に活動を行ってきた国会への請願活動が採択された事を受け、今後の文化芸術政策・予算の充実、文化省の設置、文化芸術立国への実現に向けた集いが開催され、文化芸術の必要性を幅広く社会に訴える集いに役員及び会員の多くが出席し盛況に開催した。
※ 集い「文化芸術政策を国の基本政策に」
期日 平成24年10月17日(水)17時～18時15分
会場 憲政記念館 講堂
主催 音楽議員連盟/文化芸術推進フォーラム
- 事業環境整備として芸術ヴィザでの公演可能に向けた制度改正の働きかけと二重源泉税問題の解消に向けた各方面との交渉については、政権交代後の経済復興が主題となっており、二重源泉の解消の協議までには至らなかった。
- 東日本大震災の被災者支援の一環として設置された「心の復興音楽基金」事業は、現在までに29件、約400万円を、被災地に赴いて活動する音楽家の旅費等の支援に充当した。今後は震災後二年を経過することから、被災地での活動を社会に向けて発信出来るよう社会的注目度の高い活動にシフトする方針である。
- 兼松基金の活用については、普及啓発事業の「ジャパン・クラシック・フェスティバル」を通じて青少年へのクラシック音楽普及活動の資金として今年度は500万円を投資し、次世代を担う子どもや若い世代へ向けた普及活動の資金とした。
- NHKの芸術系番組(N響アワー等)の減少に対し、公共放送として視聴率に係らず芸術文化向上の為の充実した音楽番組の復活を求め、関田会長、善積常務理事等が放送総局長に対し要請を行った。
- 公益法人法改正に伴い、昨年度の総会にて一般社団法人へ移行することが決議され、今年度は移行に向け内閣府と協議を続けて来た結果9月21日に一般社団法人への移行を認める答申が公益認定等委員会よりなされ、3月19日付けで移行認可書の交付を受けた。又、移行に向けて1月25日に臨時総会を開催し、新定款及び新役員体制について決議を行い3月21日付け、移行認可書とともに法務局に届け出を行った。
- 一般社団法人への移行に伴う新定款に準拠して役員体制を決めるべく、役員選任規程及び同催促による役員選任委員会を設置し、立候補及び推薦の受付、正会員による予備選挙を行い新役員体制案を理事会に答申した。
- 協会の定例理事会の拡大判として、中京地区会員等との懇談協議会を開催し、協会の諸活動の報告、文化事業を取り巻く諸政策の現状と共に、中京地区におけるコンサート業界の現状等について報告と協議が行われた。
期日 平成24年9月21日(金)15:00～17:00
会場 中部日本放送本社本館6F第3集会室 参加者は協会役員中京地区会員等計20名